

令和7年度 年間指導計画及び具体的な評価の方法	3年音楽科	観点別学習状況	評価の観点	観点番号
		知識・技能		1
		思考・判断・表現		2
		主体的に学習に取り組む態度		3

月	指導事項区分		配 当 時 間	指導内容 主な評価規準	観 点 番 号	具体的な評価の方法
	単元 内容のまとまり	節 題材				
4月	A表現(1)歌唱 日本の歌	花（2部合唱）	4	・日本の情景や日本人の心情に結び付いた歌曲の美しさや楽しさを味わいながら表現する。（正しい発声・表現力・独唱する力を付ける。） ○曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。（知識） ○創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付けている。（技能） ○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。（思考） ○音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。（態度）	1 1 2 3	・重唱テスト ・グループ作り プリント
5月 6月	A表現(1)歌唱 合唱の喜び	大地讃頌	2	・混声四部合唱の豊かな響きと声の重なりを感じ取りながら、表情豊かに歌う態度と発声法を身に付ける。 パートごとに話し合ってより良い表現力を身に付けていく。 ○創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付けている。（技能） ○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。（思考） ○音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。（態度）	1 2 3	・授業観察 ・実技テスト
	B鑑賞 日本の伝統芸能	歌舞伎	3	・日本の伝統芸能である歌舞伎に対して、主体的にその歴史や背景を知ることにより、日本の伝統音楽の特徴を感じ取り、味わうことができる。 ○我が国や郷土の伝統音楽の特徴と，その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。（知識） ○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。（思考） ○音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（態度）	1 2 3	・プリント ・単元テスト ・鑑賞文
6月 7月 7月	A表現(1)歌唱 合唱コンクールに向けて	自由曲選び	2	・クラスにふさわしい曲を選ぶことができる。（選曲用紙に、自分の考えや感想を多く書くことができる。） ○音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。（態度）	3	・プリント ・合唱コンクールの選曲用紙
8月 ・ 9月	B鑑賞 オーケストラの響き	「ブルタパ」	3	・音楽史の流れとともに、時代背景、情景の表現等オーケストラの多彩な表現力を感じ取りながら鑑賞をする。 ○音楽の特徴とその背景となる文化や歴史，他の芸術との関わりについて理解している。（知識） ○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について考え，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。（思考） ○音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（態度）	1 3	・プリント ・単元テスト ・鑑賞文
	A表現(1)歌唱 合唱の喜び	課題曲・自由曲の取り組み	3	・リーダーを中心としたパート練習。パートでまとまり音楽を作りあげていく。 ・指揮者・伴奏者とともに、表現を工夫し美しい発声と表現力を深めていく。 ○音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて，音楽における働きと関わらせて理解すること。（知識） ○創意工夫を生かし，全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。（技能）	1 1 1	・楽譜の書き込みチェック ・曲に関するプリントなど

10月	A表現(1)歌唱 合唱の喜び	課題曲・自由曲の取り組み	4	・混声三部合唱の豊かな響きを感じ取りながら、合唱コンクールに向け色々な合唱曲に取り組み、表現力と合唱に親しむ態度を育てる。(声を出し、ハーモニーを感じ表現できる。) ・響きのある声を見つけ、豊かな響き、美しいハーモニーで合唱する。 ・歌詞の内容や曲想を感じ取って表現を工夫する。 ○声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。(知識) ○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。(思考) ○音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(態度)	3 2	・授業観察 ・実技テスト
11月	B鑑賞 オーケストラの響き、名曲鑑賞	「ボレロ」	3	・音楽史の流れとともに、時代背景、情景の表現等オーケストラの多彩な表現力を感じ取りながら鑑賞をする。 ○音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。(知識) ○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。(思考) ○音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(態度)	1 3 2	・プリント ・授業での発言等 ・鑑賞文
12月	B鑑賞 音楽の持つ力	身近な音楽 世界の音楽 (ポピュラー音楽)	3	・日本や世界の音楽を鑑賞し、様々なジャンルや様式があることを知る。また、これからの生活の中で、多種多様な音楽に興味、関心を持ち、親しむ心情を育てる。(音楽の持つ力を、自分なりに考え、表現することができる。) ○諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。(知識) ○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。(思考) ○音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(態度)	1 2 3	・プリント ・鑑賞文
1月	A表現(3)創作 創作	マイメロディ	3	・ハ長調の音階を使ってまとまりのある旋律をつくる。 ○音階の特徴や音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。(知識) ○音楽を形づくっている要素やその働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。(思考) ○音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。(態度)	1 2	・作品
2月	B鑑賞 日本の歌	「早春賦」	2	・詩と旋律が一体となった美しさを感じ取って 表現・鑑賞する。(日本歌曲の美しさを感じ取り、表現できる) ○我が国や郷土の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。(知識) ○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。(思考) ○音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(態度)	1 2 3	・プリント
3月	A表現(1)歌唱 卒業式に向けて	卒業式の歌練習	3	中学校三年間で学んだことを生かして、最後の合唱が感動できるようにする。仲間と協力しながら、自信を持って歌えるように練習する。(豊かな響き、美しいハーモニーで合唱する。曲の特徴を生かして表現を工夫し、美しい合唱に仕上げて演奏する。) ○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。(思考) ○音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(態度)	3 2 2	・歌唱テスト ・プリント